第5号

兵庫県のり漁場環境情報（東播海域　２　号）

2026年10月28日発行

兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻のBellerochea horologicalis(らせん状)が前回同様に大量発生していますが、10月24～26日にかけての降雨(明石：42.5㎜)や上げ潮での調査ということもあり、窒素は陸水の影響が見られる海域地先で２～５μg-at/Ｌ台、大阪湾からの海水の影響が見られる林崎新漁場沖筋で３～５μg-at/Ｌ台、その他の海域沖筋で概ね１～２μg-at/Ｌ台とやや上昇しています。

（水温）漁場内平均23.7℃（平年比1.3℃高く、昨年比0.9℃高い）。（塩分）平均32.13psu。前回（31.74）より0.39psu高い。

（珪藻、栄養塩）

Bellerochea horologicalis発生量は、海域東部で50細胞/ml以下、江井ヶ島新漁場以西で100～200細胞/mlであった。また、海域全般にキートセロス等の小型珪藻が確認されたが発生量は前回よりも減少しており、リンの値もやや上昇していた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水　温	24.2	23.7	22.4	22.8
窒　素	1.8	3.4	5.4	4.6
リ　ン	0.13	0.36	0.59	0.60

(10/28)

※窒素の平均は④を除く

西播地先

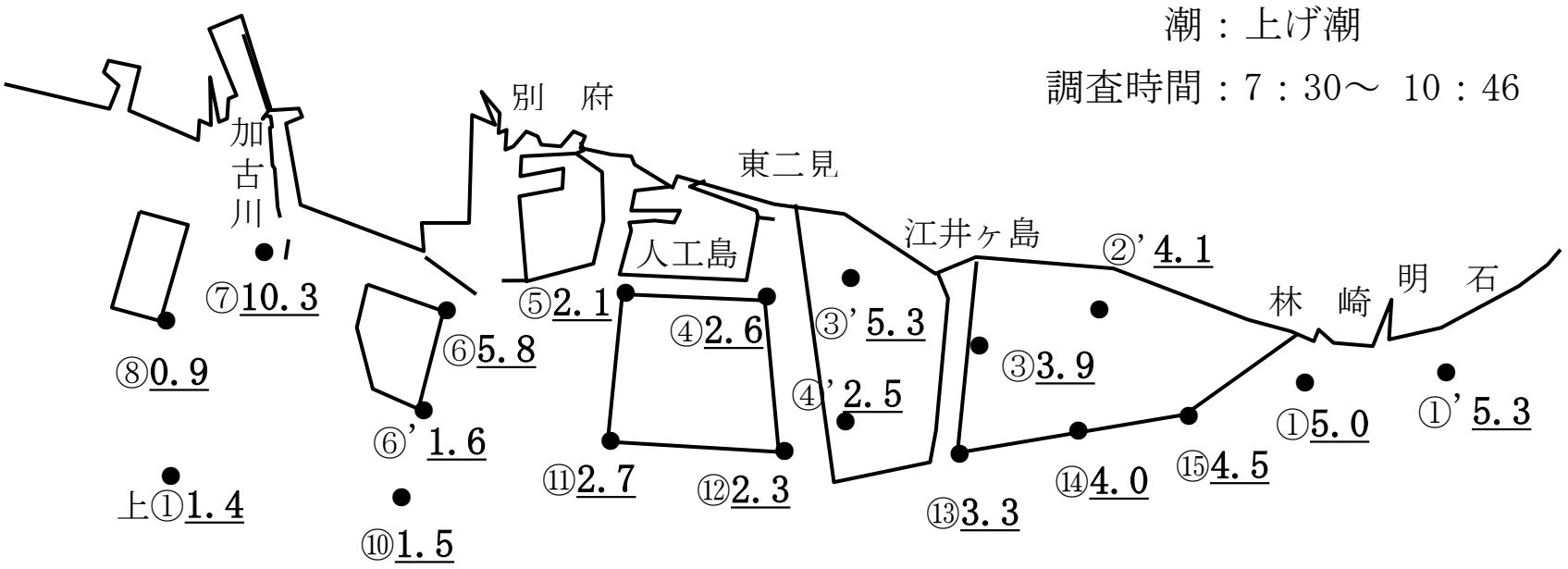
伊保 地	水温	23.8℃	伊保 沖	水温	23.7℃
	窒素	1.2		窒素	1.9
	リン	0.23		リン	0.25
白浜 地	水温	23.8℃	白浜 沖	水温	23.6℃
	窒素	1.5		窒素	1.5
	リン	0.23		リン	0.22

2026年10月28日調査

栄養塩（窒素）図

潮：上げ潮

調査時間：7：30～ 10：46



水温図

